

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/5 （9/28との比較）	10/5 （9/28との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.60% （+0.17）	87.89円 （▲0.23%）	+1.9% 2018年2Q	1.50%	発表された雇用ネット変化率は市場予想を大幅に上回る結果となったことなどから、国債利回りは上昇。また、原油価格やオイルサンドの指標となるWCSが下落したことなどから、カナダドルは対円で下落。	住宅着工件数や新築住宅価格指数などが発表予定。貿易収支が改善し黒字化したものの、消費財輸入が大幅減少していることなどから、国内需要の軟化には注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	10.10% （▲0.34）	29.61円 （+5.52%）	+1.0% 2018年2Q	6.50%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回る結果。ブラジル大統領選挙に関する世論調査で、年金改革に積極的なボウソナロ候補の支持率が上昇したことなどから、市場がこれを好感し、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などが発表予定。7日の大統領選挙において、当選に必要な過半数を得票した候補者はいなかったものの、市場に好意的なボウソナロ候補が首位に立ったことなどから、為替市場は底堅く推移すると予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.02% （+0.24）	6.04円 （▲0.51%）	+2.6% 2018年2Q	7.75%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。合意に達したNAFTA（北米自由貿易協定）は、長期的にみるとメキシコペソの下押し要因への懸念があることなどから、ペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPI（消費者物価指数）や鉱工業生産などが発表予定。NAFTA再交渉は妥結したものの、米国金利上昇への影響を受けやすいことなどから、為替市場は海外の重要な経済指標の発表等につられやすい展開を予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。  
 ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。  
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。  
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。  
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。  
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。  
 ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
 ※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/5 （9/28との比較）	10/5 （9/28との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.71% （+0.05）	80.20円 （▲2.35%）	+3.4% 2018年2Q	1.50%	発表された小売売上高は市場予想を上回る結果。また、中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。イタリアの財政懸念によるリスク回避姿勢など海外要因に左右され、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数などが発表予定。英国のEU離脱交渉の行方や、イタリアの財政不安などによる懸念から豪ドルは売られやすい環境にあるため、注意が必要。為替市場は上値の重い展開を予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.61% （▲0.01）	73.26円 （▲2.67%）	+2.8% 2018年2Q	1.75%	発表された住宅価格や求人広告件数、商品価格などの相場への影響は限定的。米国金利の上昇からリスク回避的な相場展開となり、円が買われる中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	住宅売上高や食料品価格、製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。足元の相場環境は米国金利に影響を受けやすい展開を想定。市場のリスク許容度に振られる中、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	2.07% （+0.13）	13.78円 （▲1.25%）	+3.3% 2018年2Q	0.75%	発表された製造業PMIは市場予想を下回る結果となったものの、相場への影響は限定的。米国金利の上昇を起点として、リスク回避的な相場展開となったことなどから、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	GDP（国内総生産）やCPI、PPI（生産者物価指数）などが発表予定。底堅いファンダメンタルズが示されるとみられる中、足元はリスクセンチメントに影響を受けやすく、海外の材料を見ながらの一進一退の展開を予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	↑ 景気拡大	↑ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/5 （9/28との比較）	10/5 （9/28との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.62% （+0.24）	7.70円 （▲4.21%）	+0.4% 2018年2Q	6.50%	発表された製造業PMIは市場予想を下回る結果。新たに財務大臣に起用されたネネ氏の発言から汚職疑惑が浮上していることや、新興国全体に漂うセンチメントの悪化などから、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業生産や鉱物生産量などが発表予定。財務大臣の発言を受けて、汚職疑惑が浮上するなど国内の政治リスクに高まりが見られる中、債券・為替市場はともに下値を試す動きを想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	8.24% （+0.19）	0.75円 （▲2.11%）	+5.3% 2018年2Q	5.75%	発表された外貨準備高は8カ月連続で減少。また、CPI及びコアCPIも市場予想を下回る結果。一方で、米国での大幅な金利上昇などを背景に、投資家のリスク回避的な動きが強まり、国債利回りは上昇。ルピアは対円で下落。	特段重要な経済指標等の発表はなし。米国金利上昇や米ドル高への警戒感が根強く、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。為替市場は中銀により支援されることなどから、底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.99% （▲0.09）	1.54円 （▲1.45%）	+8.2% 2018年2Q	6.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。原油価格が上昇したことなどから、インドルピアが対米ドルで史上最安値を更新した流れを受け、対円もともに下落。国債利回りは低下。	CPIや鉱工業生産が発表予定。アメリカの対イラン制裁再発動をめぐる原油供給減少懸念による、原油価格の上昇には要注意。債券・為替市場はともに上値の重い展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

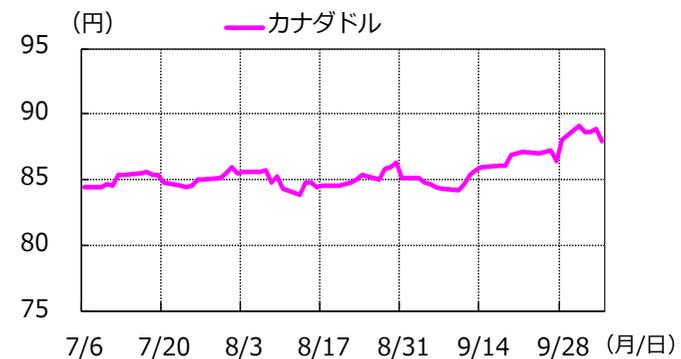
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/6～2018/10/5

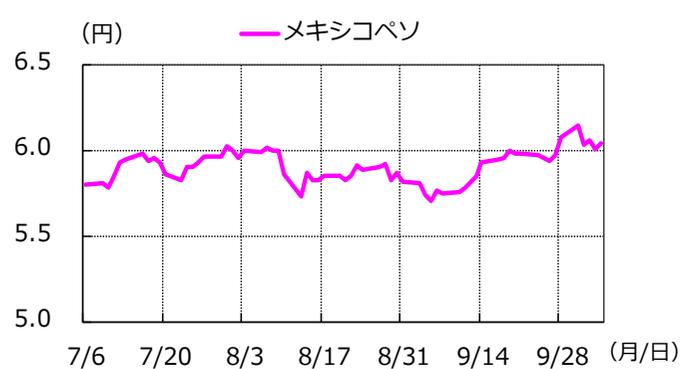
カナダ



ブラジル



メキシコ

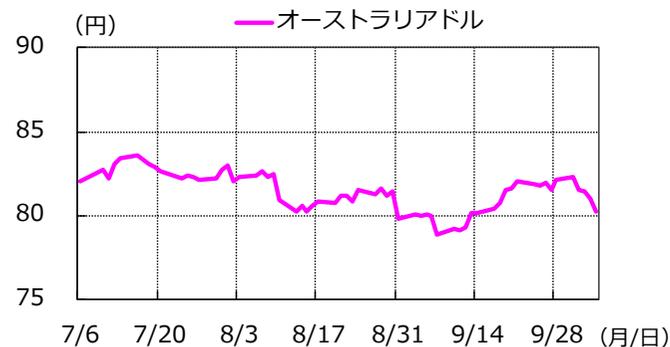


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/6～2018/10/5

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/6～2018/10/5

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。